

学校教育目標 「生き生きした 活力のある子」



学校だより

さいたま市立大牧小学校

平成29年度

5月号

No.402

平成29年5月1日

発行

5月の目標

◎生活時間を守ろう

- ・時計を見て行動しよう。
- ・下校時刻を守ろう。

伝統と新たな一歩

校長 澤田直樹



校庭の藤棚には、藤色の花が咲き、爽やかな5月の青空を正門のこいのぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。毎年、変わらずに行われている行事に全校徒歩遠足があります。今年も4月24日に大崎公園と見沼氷川公園に出かけました。今では、全校徒歩遠足を行っている学校は、あまりないのではないかと考えています。いつ頃始まったのか、過去の学校便りを紐解いてみると平成2年4月26日に行われたことが分かりました。今から27年前です。今回が28回目となります。6年生が1年生の手を引いて近くの

公園まで出かけ、今年の縦割り班活動のスタートです。その6年生も、1年生の時には同じように手をつないでもらい、ぬくもりを感じながら安心して出かけています。脈々と引き継がれているので、上級生になった時に、目にしてきた先輩の姿をお手本として話し合いを進めたり計画を立てたり、うまく下級生をリードして楽しく遊ぶ事ができました。お弁当やおやつもきょうだい班と一緒に食べ、多くの触れ合いを感じ成果をあげることができました。学年を超えて仲良く一緒に遊ぶ姿は、同一学年で遊ぶことの多い現在では、大切な事です。遊ぶ中で自然と会話が弾み、上手にコミュニケーションが取れていました。また、下級生にとっては、学年が上がった時のモデルが身近にあることで、自然と立ち振る舞い等を学ぶとてもいい機会となりました。大牧小学校で脈々と受け継がれているよき伝統です。



また、近くの畑を借り、榎本さんのご指導のもと春野菜、秋野菜を育てて収穫するのも大牧小学校のよい伝統の1つです。初めて畑で作物を植える1年生に5年生が手伝ってくれました。土に触れる機会が少なくなる中、作物を育てそれを口にすることで、生産者の思いや苦勞、収穫の喜びを体験することができると感じています。

このような子どもたちの縦のかかわりを大切にした伝統に加え、新たな一歩として特別支援学級「たんぼぼ」と通級指導教室「かがやき」がスタートしました。子どもたちは、授業中の交流や、休み時間の遊びを通して新たな横のつながりを紡ぎ大切にしています。また、昨年より新しく始まったグローバルスタディの授業もより実践的な英会話の授業として楽しんで取り組んでいます。これからも本校の教育活動にご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

※市内のどこか一か所でも「震度5弱」以上の地震が観測された場合には、「引き渡し」を実施します。学校からの連絡を待たず、来校をお願いします。